

小さくはじめる端末管理



Takeshi Ihara

- AbemaTV
- Twitter: @nonchalant0303
- GitHub: Nonchalant

検証に使う端末

- OSバージョンが上がっている
- 借りようとする端末がない



MDM (Mobile Device Management)

複数の端末を一元的に管理するための仕組み

- 端末紛失時のリモート制御 (ロック、データ削除など)
- セキュリティポリシーやアプリケーションの配布、管理
- アプリケーションや機能の利用制限と監視
 - OSアップデートの制限

MDM (Mobile Device Management)

複数の端末を一元的に管理するための仕組み

- コストが高い
 - 例: 50,000円 + 3,600円 * デバイス数 (CLOMO)
- 管理したいデバイス数がそんなに多くない

チケット管理

- 端末毎にJIRA上でチケットを作成
- 借りるときにチケットのステータスを変更



チケット管理

未実施

- ステータスを変更しない人が多そう
- OSバージョンが上がってしまう問題は未解決



ロック + 社員証で認証する

- 端末の充電口にロックをかける
- 社員証で特定の端末のロックが解放される



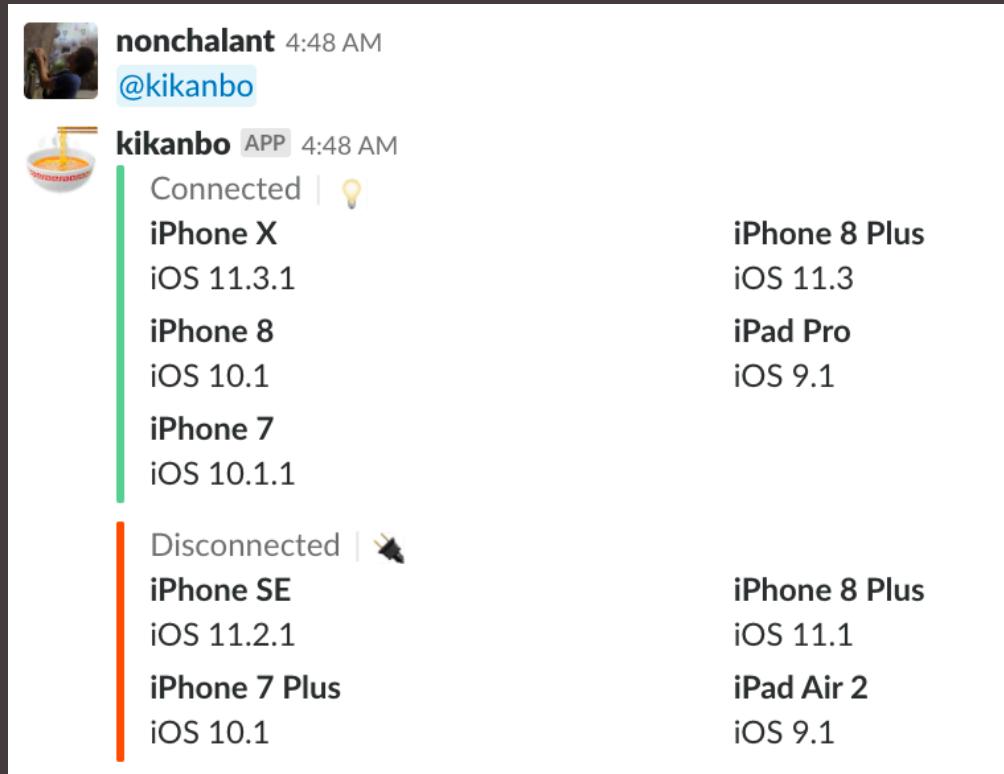
ロック + 社員証で認証する

- セットアップがめんどくさい
 - 思いついたがどうやって進めていいかわからない
- OSバージョンが上がってしまう問題は未解決



SlackBot + MacMiniで管理する

- 各端末の名前, OS, Device情報, 接続情報が表示される
- このBotを使っても使わなくても問題ない



SlackBot + MacMiniで管理する

- Jenkins + Deploy用のMacMiniが余ってた
- 実機でUITestするためにMacMiniに端末が繋がっていた
 - 電話とチャットのテスト

SlackBot + MacMiniで管理する

- 誰が借りたかわからない
 - そんなに問題じゃなかった -> Slackで聞けばいい
- OSバージョンが常に最新の情報で得られる
 - 勝手に上がることじゃなくて乖離が問題だった

OSS

<https://github.com/Nonchalant/kikanbo>

GoのCLIツールとして公開しています

まとめ

- 問題点が何か様々な解決策を検討することで認識できた
 - ツール作りが楽しくてオーバーエンジニアリングしがち
- GoでCLIツール作るの楽しい
 - Cobraというテンプレート生成ツールが便利だった
 - Docker, Kubernetesも使っている